



神奈川県立

高P連会報

事務局 横浜市神奈川区神之木台22番14号
県青少年課神之木台分館内
TEL 045-432-5889
FAX 045-432-5891
E-mail kana.koupren@kanagawa-koupren.org
編集・発行 神奈川県立高等学校PTA連合会
調査・広報委員会

第50回高P連県大会

2012・11・28 / 県立音楽堂

「学び・行動するPTA」

今回は高P連50周年を記念する大会として、11月28日(水)に千人を超える参加者が県立音楽堂に集い、開催されました。

開会のことばの後、主催者を代表して柳川秀史会長あいさつ、来賓として県教育委員会生涯学習部長福寿庸様、校長会会長小泉力也様、(財)県立高等学校安全振興会理事長團野勝美様よりごあいさつをいただきました。表彰式では、昨年度まで高P連にご尽力いただいた方々に感謝状が贈呈されました。

講演は文教大学准教授の新井立夫氏を講師に迎え、「今、社会に出ていくために子どもに求められていること、それを育むための保護者の役割と関わり方」〜何のために学び・働き・生きるのか〜と題してのお話でした。キャリア教育の考えを基に、近い将来社会に出ていく我が子との関わり方についてユーモアを交えて語っていただきました。会場が笑いに包まれるなかで、多感な時期の子どもを持つ親としては、向き合い方のヒントを得る機会となりました。

研究発表

● 県立鶴見高等学校PTA

テーマ

「ホームページ
委員会のススメ」

ホームページ委員会の活動の紹介を通じて、保護者の愛情あふれる情報発信や、またその実践と効果が発表されました。委員の皆さんの明るく楽しい、笑顔があふれる活動の様子が印象的でした。

また、初心者も簡単に出来る方法と同じ委員と楽しく活動している様子が良く分かり、演劇を用いて分かり易い工夫がなされて聞き手を引き込んで会場と一体になった素晴らしい発表でした。スマートフォンなどの普及が進んでいることもあって、電子媒体での広報活動はとて効果的でアピールしやすく、受け手にも伝わりやすくなっていますのでぜひ活用したいですね。

● 県立横浜国際高等学校PTA

テーマ

「Let's enjoy being a host family!」
「ホームステイ
受け入れについて」

ホームステイ受け入れに関する、保護者の意識調査を基にした発表が行われました。ある母娘がホームステイ受け入れを決心するところから終了するまでのストーリーを立てて大変分かりやすく、国際色豊かな内容でした。

● 県立新城高等学校PTA

テーマ

「新城高校PTA活動の紹介」
「夢と希望を育む」

新城高校PTAの様子が、ビデオで撮影された映像を通して紹介されました。映像関係の進路を志す生徒とのコラボレーションによる発表は、PTAがどのように生徒と関わっていくかを考えさせられるものでした。

実践している学校もあると思いますが、制服や体操服のリサイクル活動は素晴らしいと思います。使えるものでも捨ててしまう時代、ものを大切にする精神、「もったいない」の心を忘れないでいたいものです。



今回発表いただいた3校とも、どのPTAにも大変に参考になる内容でした。この県大会を、充実したPTA活動に向けてみんなで考える機会としたと思います。

会長のつぶやき

神奈川県立高P連 会長 柳川 秀史



新年早々、体調との関連性がとりざたされている高P連の自認という、つらいニュースが流れました。昨年の中学生の自殺に端を発した「いじめ問題」の迷走ぶりがまだ記憶に新しい中で、少なからずショックを受けました。なんで輝かしい未来が待っている、前途有望な若者が自ら命を絶たなければならないのでしょうか。しかも高P連の場合

は、好きで続けていた楽しいはずのスポーツが、逆に負担になるという悲しい出来事でした。このよつな中、わたしたちPTAは子ども達の支えとなるべく、より良い環境づくりのため、どのような活動ができたのでしょうか。なぜか無力感を感じてしまっています。しかしながら、悩むより動けます。高P連会長就任2年目とな

る今、「学び行動するPTA」を実践するため、本役員の皆様と一致団結して活動に取り組んでいきたいと思えます。今年度の入学選抜制度は、昨年度までの「前期選抜」「後期選抜」の2つの機会の特性を生かしながら、「共通選抜」として機会が一体化されました。個性豊かな、瑞々しい心を持った子供たちが、春には大勢、県立高校の門をくぐってくることでしょう。その子たちが、青春の思い出の詰まった、素晴らしい高校生活がおくれるよう、温かく見守り続けたいと思います。

これからどうぞよろしくお願いたします。

みんな実践しませんか? さあ、今日から「笑顔」

気象台

「笑顔のパワー」

笑顔には、不思議な力があります。笑顔を見れば相手も笑顔で返してくれます。相手の笑顔を見れば、自分も自然に笑顔になってしまいます。

笑顔は人の心に温もりを届けます。たくさん笑う人は幸せです。その人は、いつも良いことが起こるから幸せなのではありません。いつも笑顔を作っているまわりの人々を幸せにしているから、良いことがその人に引き寄せられるのです。

ちょっと良くないことがあったり、気分が優れないなあと思ったら、無理やりにも笑顔を作ってみてください。

笑顔というのは、人を幸せにするだけでなく、病気を治したり、人に勇気や希望や自信を与える力を秘めています。そして、自分自身にもプラス思考の力をどんどん与えてくれる、結果自分も幸せにしてくれるのです。笑顔のパワーはとっても大きく素晴らしいものなのです。

みんなの笑顔が家庭から地域、学校、社会に広がっていつともっともっと明るい世の中になればいいなあと思います。

第36回
平成24年度

PTA 広 報 紙

コン タ ー ル

1月10日(木)午後かながわ県民センターにて、審査委員長に神奈川新聞社編集局整理部の吉田勝行様をお迎えし、県教委、校長会、安全振興会、高P連清水副会長の審査委員による厳正な審査のもと、100校から応募頂いた広報紙の中から金賞4校、銀賞4校、銅賞7校、特別賞(安全振興会)1校、審査委員賞1校の17校が選出されました。

前日の天候が心配されましたが積雪も無く、1月23日(水)は好天に恵まれ約300名の方々にご参加頂き横浜市教育会館で行われました。各賞が発表されて会場はあたたかい拍手に包まれて受賞校の表彰式が行われました。神奈川新聞社の吉田勝行様には編集局整理部という仕事柄とても分かりやすい審査講評を頂きました。講演会では一般社団法人まなびの応援団・代表理事の平田節子様からインタビューの極意についてお話し頂き、ワークショップでは隣の人とインタビューしあったり、グループでインタビューした内容を説明したりする中で幾つかのポイントを学びました。

作文朗読は、応募数748の中から最優秀賞の2作品、県立中央農業高校2年三上浩正さんの「志を継ぐ者・緑の庭」、県立相模原中央支援学校高等部3年保田健太さんの「終わりになき心の甲子園」。作品に秘められ高校生の純粋さやその感性に触れいつしか目頭が熱くなっていました。



会場が1つになり盛り上がった平田様の講演



最優秀賞として表彰される希望ヶ丘高等学校PTAのみなさん

今回、応募された100校、どの広報紙にもどこかしら必ず良いところがあり、非常に難しい審査でした。審査員一同が特に重視したのは「どれだけ、耳と足を使って取材をしたか」「レイアウトや見やすさ、読みやすさ」の2点です。入賞した作品は、取材と編集のどちらにおいても非常にバランスがよく、レベルの高さに驚かされました。審査会では「そのまま学校の広報紙になりそうなくらい」「課題や問題意識を持って生徒に寄り添い、保護者の視点から紙面

講
評
神奈川新聞社
吉田 勝行

を作っている」「プロ並みの紙面レイアウトで、読みやすく、生徒たちの躍動感を生き生きと伝えている」「PTAの広報紙として、きちんとPTAの活動を伝えている」など、高く評価する声があがりました。また技術面に加えて大切なのは、熱意です。その点、100校の作品はすべて、広報委員の皆さんの努力と熱意は十二分に合格点でした。今後も無理のない範囲で、楽しみながら、より良い広報紙作りにも励んでください。期待しています。



(右から)
県教育委員会教育長賞(最優秀賞)
希望ヶ丘高等学校PTA
神奈川新聞社賞
横須賀高等学校PTA
神奈川県立高等学校校長会賞
神奈川総合高等学校PTA
神奈川県立高等学校PTA連合会賞
百合丘高等学校PTA



金賞



(右から)
神奈川県立高等学校PTA連合会賞
多摩高等学校PTA
(財)神奈川県立高等学校安全振興会賞
川崎高等学校PTA
神奈川県立高等学校校長会賞
市ヶ尾高等学校PTA
(写真なし)
神奈川新聞社賞
上鶴間高等学校PTA



銀賞



県立高等学校PTA連合会賞
(前列右から)
鶴見高等学校PTA
平塚江南高等学校PTA
松陽高等学校PTA
(後列右から)
海老名高等学校PTA
七里ガ浜高等学校PTA
大和高等学校PTA
(枠中)
足柄高等学校PTA



銅賞



(右から)
審査委員賞
平塚商業高等学校定時制PTA
特別賞
元石川高等学校PTA



特別賞・
審査委員賞

地区大会

「学び行動するPTA活動を目指して」

今年度も、県高P連の活動方針と重点目標の一つである「生徒の豊かな心を育む活動の推進」事業として、9月8日の専門部会を皮切りに、10月29日の川崎地区大会まで、県下10地区と1専門部会において地区大会が開催されました。この大会は各地区会員の研修や交流の場としても大変重要な役割を担っております。各地区の大会は、概ね招待講演と各地区担当校による研究や事例発表の二部構成で行われました。講演内容も各地区で様々な分野についてそれぞれ特色ある講演をしていただきました。紙面の関係ですべてを紹介できないのが残念ですが、映画化もされた話題になった「はやぶさ」と宇宙科学」関係が2件あり、PTA活動、生徒の活動、宇宙事業に限らず、「一つの成功を次の活動へどのようにつなげていくか」また、「継続させていくことの大切さ」を感じた講演でした。他には親子の向き合い方やコミュニケーション関係が2件、子宮頸癌、ホスピス、東洋医学など医療関係が3件、災害関係、生きる事と命の尊さ、聴覚障害者を乗り越えて共に生きる社会についてなど、保護者の皆様関係者の皆様も、涙あり、感動あり、そして

(研修委員会)

今年度も、県高P連の活動方針と重点目標の一つである「生徒の豊かな心を育む活動の推進」事業として、9月8日の専門部会を皮切りに、10月29日の川崎地区大会まで、県下10地区と1専門部会において地区大会が開催されました。この大会は各地区会員の研修や交流の場としても大変重要な役割を担っております。各地区の大会は、概ね招待講演と各地区担当校による研究や事例発表の二部構成で行われました。講演内容も各地区で様々な分野についてそれぞれ特色ある講演をしていただきました。紙面の関係ですべてを紹介できないのが残念ですが、映画化もされた話題になった「はやぶさ」と宇宙科学」関係が2件あり、PTA活動、生徒の活動、宇宙事業に限らず、「一つの成功を次の活動へどのようにつなげていくか」また、「継続させていくことの大切さ」を感じた講演でした。他には親子の向き合い方やコミュニケーション関係が2件、子宮頸癌、ホスピス、東洋医学など医療関係が3件、災害関係、生きる事と命の尊さ、聴覚障害者を乗り越えて共に生きる社会についてなど、保護者の皆様関係者の皆様も、涙あり、感動あり、そして

交通安全大会

「こどもたちの安全を守るために」

今年度も県下10地区において「交通安全大会」が合計約3400名の参加により開催され、昨年同様9地区においては高校生大会とPTA大会の合同開催となりました。各地区の交通安全担当校、発表校及び関係者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。各地区とも県高P連交通安全運動の理念に立った交通安全運動の推進のため、生命の尊さと交通安全の責任及び交通ルールとマナーの重要性を自覚してこれを遵守することを目的に、みんなの交通安全教育推進運動「スタートかながわ」のモデル校の活動報告や

(健全育成委員会)

● 縁あって年度途中から仲間入り、新しい仲間との出会いに感謝！ここでも充実感、達成感を味わえるといいなあ。(K・M)

● 活動を通じて沢山の仲間が出来ました。そしてその仲間を支えられ有意義な年になりました。優しい皆さんに感謝です。(テッチ)

編集後記

あっ発見!



高P連ホームページ
見つけたら、ぜひ各ページをご覧くださいね！各地区での大会の様子、高P連会議報告、トピックスなど随時アップされています。各単位PTA、各地区での活動内容を充実させながら円滑に運用できるよう情報を発信していきます。効率的な活動を図るためにぜひご利用ください。また、この会報の内容はホームページとも連携していきます。ご意見・ご提案などお待ちしております。

<http://www.kanagawa-koupren.org> 神奈川 高P連 検索

第62回全国高等学校PTA連合会大会



和歌山大会

8月紀州の地に全国の高等学校PTAが集い、「和をもって響き合え」のテーマのもと大会が盛大に開催されました。開会式では地元高校生たちによるアトラクションが華やかに練り広げられて会場を盛り上げていました。宇宙科学研究所の川口淳一郎先生の全体講演は、宇宙探査機はやぶさは故障で地球へ帰還出来ない状態でも諦めずはやぶさと交信し奇跡的に帰還を成し遂げる事が出来たという壮大なお話でした。二日目は和歌山県の高校生が被災地へ私達も台風の被害で助けて頂いた、地震で辛い思いをされている方に出来る事を…人を助ける事の大切さを再認識させて頂きました。色々なお話をいっぱい聴けて綺麗な和歌山を知る事が出来た心に残る大会でした。

第58回

関東地区高等学校PTA連合会大会 千葉大会

今年度の関東大会は7月6日・7日の2日間の日程で、夏の潮風香る千葉ポルトアリーナをメイン会場にして関東7県から教職員とPTA約三千人が集い開催されました。大会のメインテーマに「絆(きずな)を深めよう地域で、学校で」を掲げ、高校教育、進路指導、生徒指導、家庭教育、地域コミュニティ、それらとPTA活動の係わりを通して、学校・家庭・地域の教育の充実について考える有意義な大会になりました。

記念講演では宇宙飛行士の山崎直子さんにより、「絆を求めて」宇宙飛行士からのメッセージの演題で、スペースシャトル搭乗に至るまでの体験談を聞きました。宇宙飛行士の訓練を例に、自己管理、リーダーシップ、フォロアーシップ、状況把握の4項目についてお話を頂き、大きな課題を成し遂げるためにはチームメンバー相互協力が必要不可欠で、その大切さを学びました。

2日目は『家庭教育とPTA』の分科会で、埼玉県立幸手商業高校PTAによる『家庭教育力を高めるためのPTA活動』の発表と、群馬県立嬭恋高校PTAの『地域と共に歩むPTA活動』の発表を聞きました。幸手商業の地域との連携の話で紹介された演劇部のちんどんパフォーマンスはとてユニークな取り組みでした。嬭恋高校のスキー部によるキャベツ畑運営も嬭恋ならではの取り組みで地域性を感じました。嬭恋高校の質疑応答で、卒業生の殆どが県外に出て行くという、農村部の抱える現実にとっと切ない気持ちになりました。



●● かながわ教育ビジョンの推進 ●● ~心ふれあうしなやかな人づくり~

県教育委員会では、明日のかながわを担う人づくりを進めるため、様々な取り組みを行っています。



神奈川県まなびや基金への寄附のお願い

県教育委員会では、皆さんからの寄附金を活用して、県立高校の教育環境の整備を進めています。子どもたちに、より一層快適なまなびの場を提供するためご支援、ご協力をお願いします。寄附の方法等はホームページをご覧ください。

[まなびや基金](#)

【問い合わせ】
県教育委員会教育財務課
電話045-210-8105

高校生ボランティアセンター

平成18年度より高校生ボランティアセンターを設置し、高校生のボランティア活動を支援しています。平成24年度は、公募で集まった40人のスタッフが、環境、青少年の2グループに分かれ、県下の高校生が参加できるボランティア活動を企画・実施しました。

■平成24年度活動発表会のご案内
(日時：3/10(日)13:30~15:30
会場：かながわ県民センター)

■平成25年度 スタッフ募集
ホームページ、または各学校へ送付する募集案内(3月送付予定)をご覧ください。

高校生ボランティアセンターホームページ http://www.planet.pref.kanagawa.jp/k_vol/k_vol_top.htm

●問合せ/県生涯学習情報センター(かながわ県民センター5階) 電話045(312)1121 内線2506

平成26年度 全国高等学校総合体育大会

「煌めく青春 南関東総体2014」が、平成26年夏、南関東4都県(東京都、千葉県、神奈川県、山梨県)で開催されます。

本県では33年ぶりの開催となり、全30競技中、ハンドボールをはじめとする8競技が行われます。県内高校生には、大会の選手としての出場はもとより、全国からお越しいただく多くの方々への歓迎行事など、様々な場面での参加を予定しておりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

詳しくは大会公式ホームページ <http://www.2014soutai.jp/> をご覧ください。

「Let's! Enjoy! 健康☆体力づくり」

本県の子どもの体力は、全国と比較すると、全国平均値を下回っています。

子どもの体力は生活習慣との関わりがあることから、本県では、生活習慣の見直しによる体力向上を目指しています。

そこで、「Let's! Enjoy! 健康☆体力づくり」を合言葉に、「しっかり朝食、たのしく運動、テレビはひかえて、ゆっくり睡眠」をキャッチフレーズとして、小・中学生及び高校生の生活習慣の改善に取り組んでいます。学校・家庭・地域が連携して、子どもの体力向上に取り組むことができるよう、皆さんもご家庭で子どもたちの体力向上に向けて、できることから取り組んでみてください。

サンマルサン 3033運動

『あなたのからだかヨミガエル・ミチガエル・ワカガエル!』積極的に階段を使用する、いつもより歩幅を広げて早足で歩くなど、普段の動作をテキパキと意識して行う「日常生活の運動化」から3033運動に取り組んでみませんか?

神奈川県では、県民の皆さんが一人でも多く、健康で明るく豊かな生活を営んでいただくために、1日30分、週3回、3ヶ月間、継続して運動やスポーツを行い、くらしの一部として習慣化する「3033運動」を推進しています。

今年度実施の逗葉高校や湘南台高校など、これまで数校のPTA研修等で「3033運動講習会」を実施しています。

貴校でも、開催してみたい場合は、まずは、ホームページにアクセス!

[3033運動](#)



【いじめ110番、不登校ほっとライン】のご案内
神奈川県立総合教育センターでは、いじめや不登校に関するさまざまな悩みやお問い合わせに応じています。
「いじめ110番(電話相談)」電話0466-81-8111
24時間365日受付
「不登校ほっとライン(電話相談)」電話0466-81-0185 月曜~金曜
8:30~21:00 土・日・祝休日は8:30~17:15(12/29~1/3を除く)

魅力ある県立高校 づくりに向けて

県教育委員会では、国際化・情報化が進展する社会や、平成25年度から年次進行で実施される新しい学習指導要領など、県立高校を取り巻く状況に柔軟に対応していくため、平成23年3月に公表した「これからの県立高校のあり方」で示した方向性に基づき、専門高校の学科改編など、新たな時代の要請に応える専門教育の推進や、元・港南台高校の施設を活用したフロンティアスクール(多部制定時制高校)の平成26年4月の開校に向けた準備等を進めています。

また、次代を担う高校生が国際社会で生きていくために、すべての県立高校において実践的な英語コミュニケーション能力の育成を図るとともに、すべての生徒が日本史を学び、我が国や本県の歴史・伝統・文化に対する理解を深める取組みを進めています。

さらに、確かな学力の向上を図るため、組織的・計画的な授業改善を進めて「生徒が主体的に取り組める授業」や「わかる授業」を展開していきます。

こうした取組みを通じて、県立高校の教育力の向上に努め、魅力ある学校づくりを進めています。

携帯電話・スマートフォンを正しく活用するために

最近、携帯電話・スマートフォンなど、インターネット接続機器の不適切な利用によるトラブルが多く発生しています。

子どもたちの携帯電話等に関する犯罪被害やトラブルを防ぐために、有害サイトへのアクセスを制限するフィルタリング等を設定することは、最低限の防衛手段です。

また、日ごろから、保護者と子どもで使い方のルールを決め、子どもの携帯電話等の使用状況に対して関心を持つことが大切です。

かながわ子どもスマイル(SMILE)ウェーブ

子どもとコミュニケーションを積極的に取っていますか?

県教育委員会では、子どもたちのいじめ、暴力行為等を未然に防ぐため、地域の大人が子どもたちの“育ち”を応援する「かながわ子どもスマイル(SMILE)ウェーブ」を推進しています。

あいさつを交わす、頑張りや褒めてあげるなど、たくさんの大人とのコミュニケーションが子どもの“育ち”を支えます。

詳しくは県ホームページをご覧ください。

